

平成 24 年 6 月 22 日  
国際石油開発帝石株式会社  
広報・IR ユニット  
(電話 03-5572-0233)

今夏の使用最大電力の削減目標と取り組みについて (お知らせ)

国際石油開発帝石株式会社 (以下、当社) は、昨年に引き続き、今年の夏場に予想される電力不足に対応するため、東北電力・東京電力・中部電力管内の当社事業所において昨年同様の取り組みを以下の通り実施し、平成 22 年比で概ね 30%程度の削減を目指していくこととしましたので、お知らせします。

■ 国内原油・ガス生産プラント等における取り組み

- 越路原プラント (ガス生産プラント) の自家発電設備を活用し、外部からの供給電力を削減します。
- 外部からの供給電力を要する操業は、出来るだけ電力需要ピーク時間を避けて行います。
- 一部操業機器につき、電力負荷の小さい機器へ入れ替えます。
- 越路原発電所 (発電プラント) 及び越路原プラントの自家発電設備の余剰能力を活用した追加発電を実施し、系統に送電します。

■ 国内事務所・社員寮での取り組み

- 冷房設定温度を 2℃程度引き上げます。
- 照明の削減や照度を調整するほか、昼休み及び就業時間後の照明一斉消灯を実施します。
- パソコンの待機電力削減を徹底します。

また、当社ではピーク期間の全社使用電力実績を従業員に周知し、従業員の各家庭での節電対策についても併せて周知することで、節電意識を啓発してまいります。

以上